

特定実験試験局制度の特例事業

【規制緩和の内容】 電波を用いた実験等を実施するために必要となる無線局の免許申請について、周波数・地域・期間・空中線電力を免許申請前の段階から予備審査等を行うことにより、申請から原則「即日」で免許発給が可能となる特例。

ドローンインパクトチャレンジ
アジアカップ2016
(平成28年7月30日・31日開催済)

規制緩和の活用

海外選手の競技参加や同時に
スタートできる台数の増加が可能

【お知らせ】

ドローンの貸出について

仙北市では、近未来技術活用推進に係る活動に対して、仙北市保有のドローン等を貸出しています。利用を希望する方は、申請書に必要事項を記入のうえ、提出してください。詳しくは、仙北市ホームページ(トップページ)⇒「地方創生特区」のバナーをクリック⇒「ドローンの貸出について」をご覧ください。

【最近の動向】

～空から見た桜並木～ドローン映像で「角館空中さんぽ」体験

5月1日、角館桜まつり期間中の桜木内川河川敷で、ドローン映像配信の実証実験を実施しました。ゴーグルの形状をしたディスプレイを頭部に装着し、桜木内川上空を飛行するドローンのカメラから配信される映像を観ることで、空を飛んでいるような体験ができるものです。

株式会社くまがい印刷の協力を得て実施した実証実験には、約150人の観光客が参加し、はじめての体験と、空から見た桜の美しさに歓声を上げていました。

株式会社くまがい印刷の熊谷健司専務取締役は、仙北市と連携協定を結んでいる秋田ドローンコミュニティ(会員約200人)の中心的役割を担い、秋田市を拠点に幅広い活動をしています。

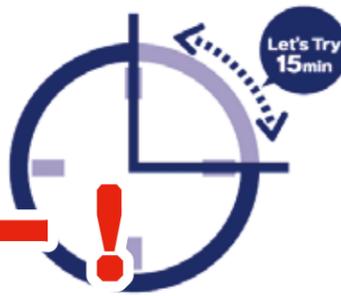


問合せ

仙北市地方創生・総合戦略室
Tel: 43-3315

市民総参加健康づくりの日

5月31日(水)は チャレンジデー!



スポーツ・運動後は必ず 報告 を!

報告は次の
いずれかで!



問合せ 仙北市チャレンジデー実行委員会事務局
(仙北市教育委員会 スポーツ振興課内) ☎ 43-3390

詳細は今号に折込のチ
ラシをご覧ください。

ここから 変わる近未来

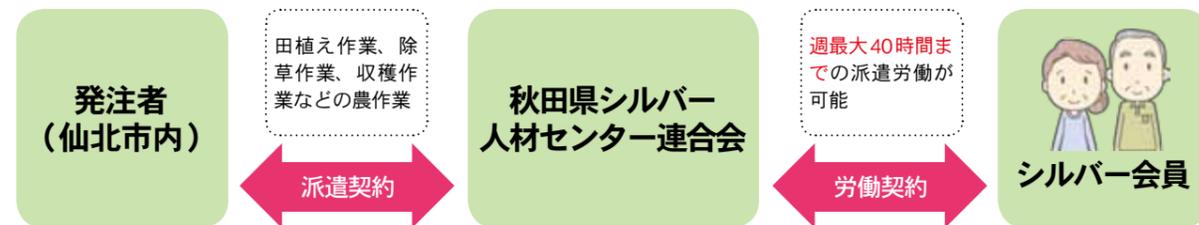


地方創生特区・近未来技術実証特区

仙北市が認定を受けて実施した事業や取組可能な規制緩和メニューについて、前回に引き続き紹介いたします。特区制度に関心のある方は、ぜひお問い合わせください。

高齢退職者就業促進事業

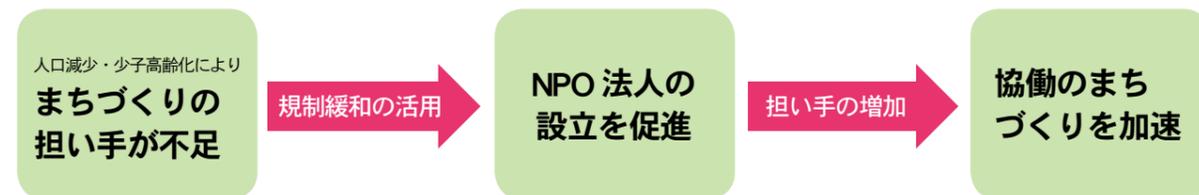
【規制緩和の内容】 シルバー人材センターが、農業等に従事する高齢者を対象に週40時間(現行週20時間以下)までの派遣労働を可能にする特例



元気で労働意欲のある高齢者に仕事を提供し、1次産業の労働力を確保します

特定非営利活動法人設立促進事業

【規制緩和の内容】 NPO法人の設立を促進するため、設立認証手続きにおける申請書類の縦覧期間を2週間(現行2ヶ月)に短縮する特例



地域活性化および地方創生の取組を推進します